



CHIBA UNIVERSITY



Graduate School of Nursing
School of Nursing

今年の公開講座は、「私らしい生き方をあらためて考えてみる」と題して、看護学部の先生方による講義を行います。是非ご参加ください！

令和元年度 千葉大学看護学部公開講座
「私らしい生き方」を
あらためて考えてみる

日時：令和元年 **10月5日（土）**

13:00～15:10（12：30開場）

場所：千葉大学看護学部内 講義・実習室

対象：看護や健康に関心のある

高校生、市民の皆様

受講料：**無料**

定員：**100名** ※定員を超えた場合、お断りする場合があります

主催：千葉大学看護学部 後援：千葉市

【プログラム】

12：30 ～13：00 受付

13：00 開講の挨拶

（千葉大学大学院看護学研究科長・看護学部長
中村 伸枝）

13：05～13：55

地域活動における認知症への対応

「私らしい地域の中での生き方」

石丸 美奈

（千葉大学大学院看護学研究科 教授）

14：05～14：55

健やかな時から考える

「私らしい人生の^{しま}終い方」

増島 麻里子

（千葉大学大学院看護学研究科 准教授）

14：55 ～15：10 質疑応答・まとめ

15：10 閉講の挨拶

（千葉大学大学院看護学研究科 広報渉外委員長 岡田 忍）

裏面に講義内容の紹介と
申込方法のご案内があります

【連絡先】 〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1
千葉大学看護学部学務係 公開講座担当
Tel: 043-226-2452 Fax: 043-226-2382
Email: kango-gakumu@chiba-u.jp

申し込み方法：

E-mail : kango-gakumu@chiba-u.jp ※件名を「公開講座申し込み」として下さい。

申込期間：令和元年 9月5日（木）～10月4日（金）

- ・参加予定者全員の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・年齢・連絡先(日中連絡可能な連絡先)を上記のメールアドレスまでお送りください。
- ・お申し込みの際にご記入頂いた個人情報は、千葉大学看護学部公開講座業務以外には使用致しません。

《講義概要のご紹介》

地域活動における認知症への対応「私らしい地域の中での生き方」

地域看護学 石丸 美奈

日本の認知症高齢者数は、2025年には約700万人、65歳以上の約5人に1人に達すると見込まれています。誰もが認知症を有する可能性、また、認知症の人と関わる可能性がある一方で、認知症には怖いというイメージが先行し、「我がこと」として考えにくい現状があります。そこで、この度、千葉市－千葉大学共同研究事業助成金を得て、「地域活動における認知症の対応を学びあうシミュレーション学習教材」を市民との協働により開発しました。是非、それをご覧いただき、自分自身や家族、身近な人に、認知症の疑いがあらわれた時、「自分であればどう考え、対応するか」、そして、認知症になっても私らしい生活ができるための地域の中での生き方を考える機会にしたいと思います。

しま

健やかな時から考える「私らしい人生の終い方」

成人看護学 増島 麻里子

厚生労働省の“終末期に関する国民の意識調査”によると、20歳以上の日本国民のうち約60%が、家族と人生の最終段階に関する医療について全く話し合ったことがない状況にあります。しかし、終末期医療の現場では、当事者や家族、医療者が、まだ死について話し合う時期ではないと考えるうちに心身状態が悪化し、当事者が受けたい/受けたくない医療を意思決定したり、療養場所の意向や大切にしたいことを伝えられない状況になることもあります。当事者が健康な時から少しずつ終生期の生き方について自分自身で考えたり、周囲の人との対話を重ねることは、日々行える健康増進の一環です。最期まで自分らしく生きることを実現するための準備を、参加者の皆様と考えたいと思います。

【交通アクセス】●JR千葉駅からバスのご利用案内

- ❖ JR千葉駅東口の改札を出てエスカレーターを降り、駅舎を出て直進すると、バスターミナルがあります。
- ❖ 7番乗り場から、京成バス「千葉大学病院」行き、または「南矢作」行きに乗車し、「千葉大医学部入口」で下車してください(5番目のバス停です)。千葉駅からの所要時間は約15分です。
- ❖ 医学部・看護学部正門を入りましたら、左へお進みください。左側つきあたりが看護学部棟です。

講義・実習室は、看護・医薬系総合教育研究棟(中棟)の2階です。

看護学部案内図

